

2024年4月9日

各位

夢 & 未来そうぞうプロジェクト  
～ 子どもたちに文化的・社会的体験を！ ～  
の取り組みについて

沖縄県労働金庫(理事長 東盛 政行)は、当金庫会員所属のホテル企業のご協力を頂き、今回3回目となる、子どもたちが、夢や将来のビジョンを持つためにも必要な「文化的体験」および「社会的体験」のコラボレーション企画を実施し176名の児童・生徒(引率者含む)が参加しました。

なお体験企画については、(公財)沖縄県勤労者福祉基金協会 就労サポートセンターの企画案による職業体験プログラムも組み込みました。

## 記

## 1. 目的

- 要保護・準要保護世帯の児童・生徒への文化・社会的体験の提供
- 職業体験(調理技術者・ベルアテンダント・ホテルスタッフ等との交流を含め)の創出
- コロナ禍における観光業支援

## 2. 開催場所および開催日(2023年12月17日～2024年3月23日)

開催場所	開催日
沖縄ハーバービューホテル(那覇市)	12/17(日)、1/14(日)
ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城(那覇市)	3/23(土)
ホテル日航アリビラ(読谷村)	2/4(日)、2/25(日)
ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート(恩納村)	3/21(木)、3/22(金)
宮古島東急ホテル&リゾート(宮古島市)	3/10(日)
アートホテル石垣島(石垣市)	2/11(土)、2/18(土)

## 3. 参加した児童・生徒・引率者の延べ人数および費用

小学生	中学生	高校	引率者	合計
5・6年	3年	2・3年		
58	70	8	40	176

それぞれのホテルへ  
支払った費用の総額  
703,000円

#### 4. 対象者

- (1) 就学援助児童支援NPO法人 エンカレッジの「居場所型学習支援教室」に通う児童・生徒  
(本島・宮古島市)
- (2) 石垣市と連携している「(一財) 石垣市ひとり親家庭福祉会」「子どもホッ！とステーション」「子どもホッ！とステーション未来塾」に通う児童・生徒

#### 5. 文化的・社会的体験の企画内容

- (1) ホテルランチまたはディナーの提供  
→ 非日常空間の体験＝自己肯定感を高める
- (2) 職業体験  
→ プロの仕事を知る、理解する  
新たな視野と選択肢を持ち、自らの可能性を発見する  
テーブルマナー習得、ベッドメイキングや宴会場セッティング体験など

#### 6. 背景

沖縄県は全国で一番、ワースト1を抱えている県である。社会・経済的な課題が「子の貧困」にもつながり、教育の均等化を図れず、高校進学率や進路未決定率に影響を与えているとも言える。そしてまたその教育的課題が、社会・経済的課題に繋がり、「負の連鎖」が続いているのではないかと考える。

「子の貧困」における問題は、満足できる食事が取れなかったり、生活必需品等が買えなかったりするなどの「経済的貧困」だけに留まらない。クリスマスや誕生日祝い、家族と食事に出かけたことの経験がない、作法や規則正しい生活リズムが分からないなどの「文化的貧困」や、相談する方法も相手も分からない、より良い就職の方法などが分からないなどの「社会的貧困」も含まれる。

「子の貧困」＝「親の貧困」の構図が浮き彫りとなっており、世代における「負の連鎖」を断ち切るためにも、子ども達が小さな成功体験を積み重ねていくことが、自己肯定感※1の醸成につながり、人生における困難な局面に立ち向かった時に知恵と勇気を与え、未来をそうぞう（想像、創造）できる原動力になると考える。

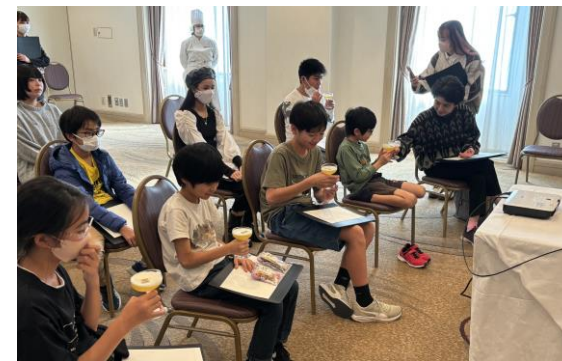
※1「自己肯定感」とは

自分自身を受け入れ、尊重し、ポジティブに捉えることができる感情のことを言う。他者とは比較して何ができるか、何を持っているかなどで優劣を決めるのではなく、評価や成果の有無にかかわらず自分軸を持ち、そのままの自分を受け入れます。自己肯定感とは、恐れや不安といったネガティブなモチベーションではなく、信頼や安心感をベースに前進する力を与える。

以上

本件に関する問い合わせ先  
沖縄県労働金庫 経営統括部  
担当：與那嶺 (098-861-1196)

沖縄ハーバービューホテル(那覇市)



ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城(那覇市)



ホテル日航アリビラ(読谷村)





ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート(恩納村)



宮古島東急ホテル&リゾート(宮古島市)



アートホテル石垣島(石垣市)

